

ふれあって **絆** ほほえんで

きずな



題字：北九州市立いのちのたび博物館長 小野 勇一
絵：平成17年度ペットスケッチコンクール福岡県知事賞 八女市立上妻小学校6年 角 賢典 君

子犬の地域譲渡会

～子供の視線で伝える、
動物たちの現状～

各地の保健福祉環境事務所で行われている「子犬の地域譲渡会」で譲渡される子犬たちは、処分される為に一度は動物管理センターの門をくぐった子犬たちです。

今回、古賀市の(財)福岡県動物管理センターの譲渡会に参加され、子犬の譲渡を受けた飼い主さんのご家族が作文を書いてくださいました。この作文はある新聞社の催しで賞を受賞されました。センターでの動物たちの現状をもっとたくさんの人たちに知ってもらいたい。また、どのようにすれば不幸な犬や猫がいなくなることが出来るのか。このような思いを子供の視線で伝えています。



私の夢

原田小学校 5年 喜田 若奈

わたしのうちは、一匹の子犬を飼いはじめました。去年の秋「福岡県動物管理センター」という所からじょうとしてもらってきました。きっかけはあるテレビ番組でした。

福岡県では、一年間に何千匹もの犬や猫が殺処分されているそうです。その数は全国でも多い県だそうです。

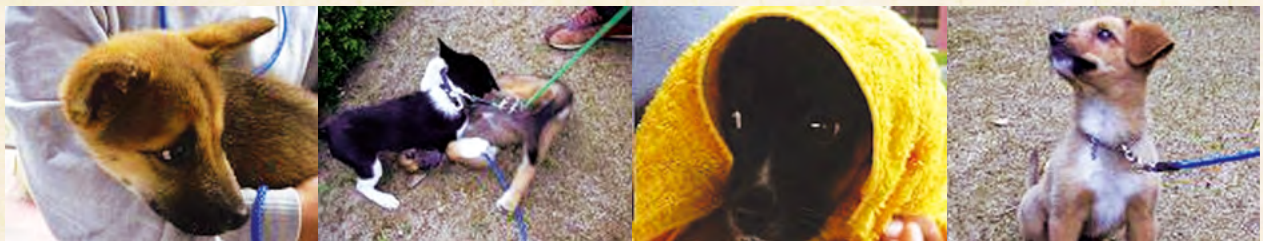
飼えなくなったからいらなくなったから、子犬や仔猫がたくさん生まれてもらい手が見つからないから、と様々な理由から保健所やセンターにつれてこられるそうです。処分は、炭酸ガスで行なわれるそうです。

私はテレビを見て泣いてしまいました。人間の勝手な考えや行動で犬や猫達が命をうばわれていっていることにおどろきました。信じられませんでした。ペットブームといわれているのに、そのうらでは、不幸な犬や猫が何千匹いるのです。犬や猫は、おもちゃでもなく、ファッションでもなく、私たちと同じように命を持った生き物なのです。

福岡県だけでなく、日本中に何万匹もの犬や猫が不幸にあっていると思います。そんなかわいそうな犬や猫をつくっているのは、わたしたち、人間です。人間が犬や猫を自分たちと同じくらい大切に思えば、不幸な犬や猫が少しずつ減ってくると思います。だから、わたしは、どうしたら不幸な犬や猫を減らせるか、考えるようになりました。

今、ペットを飼っている人、これから飼おうと考えている人に、もっと真剣に現実を知ってもらいたいです。みんながペットを家族の一員と思ってくれば、不幸な犬や猫は減っていくと思うのです。そのために、何でもいいから手伝いたいと思っています。これからのわたしにできることは何だろう……。

不幸な犬や猫がいなくなること。それが、わたしのかなえたい夢です。



16年度に不要として福岡県の動物管理センターに持ち込まれた犬の数5939頭の内、子犬が2333頭でした。これはほとんどが普通の犬好きの人から出された犬たちです。決して可愛いとか可哀想という理由だけで、子犬を求めないでください。その願いを込めて、子犬の譲渡を希望する方には「事前講習会」を受講されることを義務づけております。よろしくご理解ください。

譲渡会のご案内

- (財)福岡県動物管理センター 子犬の譲渡会 毎月第2水曜日
*5月の譲渡会のみ第3土曜日(事前講習会は第2土曜日)
*毎週第1水曜日の事前講習会を受講した人に限る
*要予約 (財)福岡県動物管理センター TEL:092-944-1281

- 地域譲渡会 開催予定日
(各)保健福祉環境事務所
(久留米) 6月28日 (鞍手) 7月26日 (筑紫) 8月30日
(八女) 9月27日 (京築) 10月25日 (遠賀) 11月22日
*あくまでも予定です。また、事前講習会が必要となりますので、必ず各保健福祉環境事務所もしくは動物管理センターへお問い合わせください。
(しつけ教室も行っております。お問い合わせください)

動物愛護推進 啓発活動

動物愛護を考える集会

鞍手支部

平成17年11月13日、筑豊地区・直方市で「動物愛護を考える集会」を初めて開催しました。

会場には啓発パネルや犬・猫の飼い主募集のチラシを展示し、長寿犬・猫の表彰や県動管センター・小山先生の講演、パネルディスカッションを行いました。とても良い話や、これから考えていかなければならない事など、たくさんのお話を聞くことができ、私自身もパネラーとして参加させて頂き、とても勉強になりました。

残念ながら、関係者も一般の方の参加も非常に少なく心残りですが、今後も第2回、第3回の開催へとつなげていければと思っています。

鞍手支部推進員：宇野



街頭キャンペーン

京築支部

動物愛護週間中の街頭キャンペーンです。

動物愛護週間中の2日間、大型店舗等付近で、啓発資材を配布し動物愛護週間の周知と理解を呼びかけました。またこの期間中に、地元のミニFMラジオ局で、犬猫の飼い方、動物由来感染症等の動物愛護管理に関する話を放送していただきました。

第1回動物愛護推進キャンペーン

久留米支部

9月17日(土)に行われました 第11回 どうぶつ「YOU・友」フェスティバルへの案内もかねて9月13日(火)17:00~18:30 久留米百年公園にてキャンペーンを行いました。

当日は、「はるかちゃんスコープ」やチラシによる、糞放置禁止の啓発、「絆」を配布しての、動物愛護推進員および推進協議会のアピールとともに、特にノーリードによる被害(他人にも犬にも)について口頭で啓発活動をしました。ちょうど活動中、ノーリードの犬が子供を追いかけようとしていたのでリードをつけるように飼い主に注意を促しご理解をしていただきました。



第11回 宗像ふれあい広場

宗像支部

毎年、宗像地区の獣医さんと推進員さん、お役所の方々とで協力のもと、開催されています。

今回は、カラフルな紙粘土のフンを子供達に拾ってもらい、猫の耳をご褒美として配りました。(左、犬の写真参照)

子供達は、ビニールを手に、どうやって取るのか習ったり、「私知ってる」とお友達に教えたり、なかなか生き生きフン取りをしていました。お陰さまでかわいい仔猫がたくさんできました。



愛護教室

春日小学校 筑紫支部

平成17年9月から12月 まで、月1回、春日市立春日小学校において、第6学年総合的な学習「自分が出来るボランティアをしよう」というテーマで、子育て支援グループやアニマルセラピーと動物管理センターでボランティアをしている推進員で授業のお手伝いをしました。それぞれの推進員がこれまでの経験を話して、命の大切さを知ってもらい、「自分たちには何が出来るか」を考えてもらいました。子供達からは、学校で飼っているうさぎについて勉強した事や、うさぎ小屋の改善計画について発表がありました。12月15日には待鳥講師の うさぎの性質や病気などについて専門的な説明がありました。また、うさぎに限らず動物にさわる前と後は必ず手や靴を清潔にする事。これは人も動物も、動物由来感染症から守る大切なことだと学びました。うさぎ小屋の改造は予算等の関係で難しいようですが、出来るだけうさぎに快適な環境になるよう心がけたいと思います。また、これを機会に命の大切さの理解が深まれば幸いです。

動物愛護推進員 筑紫支部 伊達 綾子

大牟田保健所

大牟田支部



戸切小学校

遠賀支部



紙芝居・パネル・ぬいぐるみ等を使って、犬のしぐさ正しい飼い方終生飼養・狂犬病のこと・行方不明のときの対処法など、クイズ形式にして小学校1・2年生を対象に啓発していますが、何よりも子

供の心を惹きつけるのは「本物の犬」です。

犬に触れている時の子供たちのイキイキとした表情がとっても大好きです。

動物愛護推進員 遠賀支部 櫻内 京子

河東小学校

宗像支部

「犬をもっと知ろう」でいろんなことを教えてくださってありがとうございました。この教室でたくさんの知識を身につけることができ良かったです。わたしが一番ビックリしたのは、犬のトシを人間の年齢にするとどれくらいなのか、どうやって考えるのかを計算で表わすことができることです。他にも、ストレスがたまった時や、緊張した時の犬の動きなども学びました。私は、これから、TVで犬を見た時はどんな動きをしているのかに注意しようと思います。そして犬や他の動物も大切にしていきたいです。

小学6年生女の子の感想文より

田川保健所

田川支部





犬のしつけ方教室



しつけ教室

京築支部

昨年は動物愛護推進教育講師派遣事業を利用して、講師の先生をお招きしてしつけ方教室を開催しましたが、今年は講師も自前で(当支部動物愛護推進員の安部真理子氏他)、一から京築支部で行いました。思っていた以上に反響があり、参加した方も非常に熱心で、「来年も参加したい」とのお言葉もいただきました。どの教室も推進員の皆さんの活発な活動により成功を収めました。来年度以降も継続して開催し、この事業を定着、推進したいと思います。



糸島のしつけ教室

糸島支部

糸島地区は、福岡県の北西部に位置し、古くは魏志倭人伝にも記述されている伊都国の地とされる前原市、二丈町及び志摩町の1市2町からなり福岡・糸島地区保健医療圏に属しています。当支部協議会では、ほぼ毎月市町行政担当者と小動物開業獣医師会らで情報交換会を開催しています。又当支部では現在3名の愛護推進員が委嘱されており、年間事業でもある飼い犬のしつけ方教室(実技編:各市町ごと)を3回実施しております。

しつけ方教室の講師は、推進員の2名の方がプロの訓練士さんでもあることから実技指導の協力を依頼しております。

今年度3回のしつけ方教室の参加者は、飼い主ほか見学者約40名、同伴犬30頭が参加して実施しました。

今後の動愛推進事業については、各事業ごとの評価も含め、地域の特性に適應した特色ある事業へ転換しようと試行錯誤しています。



子犬のしつけ教室 4回コース

宗像支部

宗像では、地域譲渡会で子犬を譲渡された方を対象に子犬のしつけ教室4回コースを行いました。



参加者は、推進員8人(宗像3人)、一般公募者5人と参加犬が8匹(譲渡犬4匹)集まりました。

「犬にやさしく、人にもやさしい」をコンセプトに、徹底した少人数制です。推進員がまず学び、飼い主さんも巻き込むというのが目的です。

3日間は、推進員が借りている地域の公民館(室内)で行いましたが、4日目は、カフェ付きのドッグランで和やかなお茶のみ、犬同士の遊び方、それとちょっとトレーニングをやりました。

この教室に参加してくれた、飼い主さんたちが、これからも、しつけを気負わずに、日常の暮らしの中で、楽しく良い関係を築いていけたら素晴らしいと思います。

無駄に怒鳴ることなく、にこにこの絆を築いていける、すべての飼い主さんの夢のしつけ。楽しく実行できました。ご興味のある方は、宗像までおいでください。

動物愛護推進員 宗像支部 もり りゅういち





犬のサインを知ろう!①

あくびをする

犬は、人間のように言葉は話しませんが、いろいろな方法で、自分の気持ちを表現しています。今回は、1つ目の犬のサインをご紹介します。例えば、強い号令をかけるとあくびをすることがあります。決して眠いわけではなく、お母さんに落ち着いてほしいのかも知れませんよ。このサインを覚えて、お家のわんちゃんの様子をよくみてみましょう。もしかしたら、外で見かけるわんちゃんや、テレビに出ているわんちゃんもこんなサインを出していないかな？



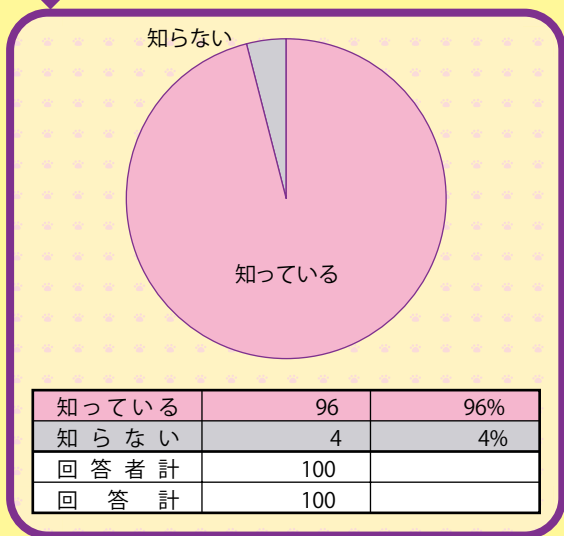
あふっ

そんなに怒らないで
落ち着いてよ

「2005年動物愛護 フェスティバルふくおか」でアンケートをとりました。

質問

捨てられたり、飼えなくなったりして保健所に引き取られる犬やねこ、野良犬になって人に迷惑をかけそうなので捕まえられる犬がいるのを知っていますか？



飼い主が動物を手放す理由	
引越し	33
世話が面倒	18
無責任・身勝手・わがまま	10
思ったより大きくなった	9
子供が産まれた	8
住居環境の変化	8
費用(えさ代等)	7
飽きた	6
吠える・かみつく	4
飼い主のアレルギー・病気	4
動物の病気の世話・看取りたくない	3
手に負えない、しつけができない	3
飼う前に考えていない	2
生活の事情	2
知識の不足	1
必要でなくなった	1
別の動物が欲しい	1
回答者数	88/100
回答計(複数回答)	120

福岡県動物愛護推進協議会HPアドレス：<http://www.fukuoka-douai.jp/index.htm>

編集後記

∞ 行動するというのは大変だけど、今、何より大切な事ではないでしょうか？
第4号を迎え、少しづつだけと確実に愛護活動が増えています。嬉しい事を嬉しく思います。
推進員 N

∞ 不安な目をした犬や猫達の顔が新しい飼い主に会って喜びの笑顔に変化する。不安な顔の飼い主さんが、私達のアドバイスで新しい発見の笑顔に変化する。人の考えも十人十色、動物も個々に性格あり。時間はかかるかもしれないけれど、人も動物も満開の笑顔になれるような推進員を目指したい!!
推進員 M

∞ 動物と共に生活をしていくと、今まで感じる事が少なかった景色や風の匂いを自然に感じることに気付くことが出来るような気がします。これからも、動物と一緒に暮らしていくことが、人間にとっても素晴らしいものである事もっと多くの人達に伝えていくことが出来るような推進員でありたいと思います。
推進員 X

∞ 福岡の動物が一匹でも楽になれたらと思います。もれなく、飼い主さんも楽になることでしょう。的確な知識と人間力をもった専門家が揃えば嬉しいものです。その一助になれば幸いです。
推進員 Z